

恒川陽一郎 ヨシツネ 小説家。明治二十一年一月二十六日生れ、大正
五年八月歿（二八八一—一九一六）。號清々、石村。東京府立第一中學校、谷
崎潤一郎、大貫晴川と親交。明治二十九年第一高等學校入學、翌年新
詩社に加入。赤坂の名妓萬龍を妻とした。

著書 『山道』（大正二年十一月）『十八日献文堂』、『灯ととも』頃（大
正四年十一月一日磯部甲陽堂）、『萬龍木來記』（合著・野元北馬編、
大正五年十一月一日須涼啓興社）等。